

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人

海田町社会福祉協議会

令和4年度事業実施報告

1 はじめに

海田町においては、地域共生社会推進に向けた事業等を進めつつ、新型コロナウイルスの感染症対策や防災・減災の取組、子育て世帯等への支援に取り組まれています。

本会においても、第4次地域福祉活動計画に基づき、地域共生社会の実現に向けて、地域課題を地域で解決できる仕組みづくりや地域の人材育成に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響等により生活が困窮している世帯に対しては、当面の生活資金を補完する緊急小口資金や、失業等の世帯に対する総合支援資金等の生活福祉資金貸付を引き続き実施しました。

さらに、心配ごと相談や福祉なんでも相談のほか、スマホサポートボランティアによる相談会を定期的実施し、相談窓口の拡充に努めました。また、地域への支援では、コロナ禍におけるいきいきサロンや見守り訪問の工夫について福祉委員会で協議し、つながりを切らさない地域支援のあり方について情報共有を行いました。

障がい者（児）に対する支援では、引き続き「障害者相談支援センター」において、本人や家族等の意思を尊重した相談支援の充実に努めました。

ボランティアセンター事業では、ボランティア人間塾の取組において、地域の活動団体や障がい者、福祉施設など、地域で生活する様々な方が講師となり、それぞれの立場で考える地域共生社会の取組を共有しました。

海田町福祉センターの指定管理事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、プールや筋力向上トレーニングルームの運営やさわやか大学の実施、福祉センター自主講座の活動発表・展示会を行い、住民相互の交流や活動の場づくりに努めました。

そして、今日の重要な社会課題である生活困窮者への支援に積極的に参画するため、海田町くらしの安心・サポートセンター運營業務受託候補者選定へ応募し、海田町での審査を経て、令和5年1月本会が受託者となることが決定しました。

2 重点的な取組

1 つながりとふれあいのある地域づくり

(1) 地域活動によるつながりを強める

☆ふれあいいきいきサロン事業の充実

いきいきサロンへの訪問や福祉委員からの聴取りを行い、地域の課題分析や、レク用品の貸出、出前講座の紹介、助成金の交付等により支援しました。

☆見守り訪問活動推進事業の充実

見守り訪問活動あんしんガイドの活用や助言等を行うとともに、他自治会の活動紹介等により、継続的に支援しました。

(2) 地域福祉活動の担い手の確保・育成を進める

☆ボランティア人間塾の新展開

年間テーマを「地域共生社会」とし、地域活動団体、障がい者、福祉施設等の多様な団体・個人から様々な切り口でつながり方等について情報提供や助言をいただき、ボランティア活動のきっかけづくりや地域福祉への関心を高めました。

(3) 支え合いのネットワークづくりを進める

☆福祉委員会の内容充実

福祉委員同士のネットワークを活かし、いきいきサロン事業や見守り訪問活動が一層活発になるよう、福祉委員会における情報交換・交流や研修内容の充実を図りました。

☆小規模社会福祉法人ネットワークづくり

災害時に物資等の協力・連携して対応できるよう、相互支援体制ネットワーク「広島さっそくネット」の取組の関係づくりを進めました。

2 みんなが安心して暮らせる地域づくり

(1) 高齢者、障がい者などへの社会的支援を充実する

☆権利擁護事業の充実

認知症高齢者の増加等に対応するため、福祉サービス利用援助事業（かけはし）の充実を図りました。

☆障害者相談支援センターの運営

障がいに関する様々な相談に応じるとともに、個々のニーズに沿ったサービスを利用するための計画を作成し、サービス調整等を行いました。

(2) 孤独・孤立化している人への支援を充実する

権利擁護事業の充実や見守り訪問活動、緊急小口資金や総合支援資金等の貸付、相談窓口の運営等のほか、緊急一時食品提供事業や地域食堂への支援など、孤独・孤立化している人への支援を充実しました。

(3) 地域の防災対策を充実する

平成30年豪雨災害時における経験を活かし、被災者生活サポートボラネット推進マニュアルの改訂や災害ボランティア事前登録制度の導入等を行い、災害ボランティアの育成と地域住民の防災意識の高揚を図りました。

3 支え合いの輪を広げる仕組みづくり

(1) 福祉教育・学習を進める

ボランティアグループによる町内小・中学校への福祉授業の出前、ボランティア人間塾「しあわせ探検コース」や手話奉仕員養成講座の開催により、福祉人材の育成に努めました。

(2) ボランティア活動の活性化

ボランティア活動のすそ野を広げるため、ボランティアの募集・登録を進めるとともに、スマホサポートボランティアの育成等ボランティアグループへの支援を行いました。

(3) 分かりやすい情報の発信

ホームページにおいてタイムリーな情報発信を行うとともに、障害者相談支援センター利用者との情報共有において、SNS活用した情報共有を行いました。

3 主な取組

(1) 当事者・家族の組織化・支援

① 高齢者

- ふれあいいいきサロンや見守り訪問活動の充実・発展を図りました。
 - ◇ふれあい上映会等ボランティアグループの活用促進
 - ◇貸出物品の利用促進，出前講座の実施・啓発
 - ◇活動助成金の交付
- 一人暮らし及び高齢者世帯等の在宅生活を支援するため，必要な各種サービス・事業を実施しました。
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇寝具洗濯乾燥消毒サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催
- 様々なニーズに対応する支援・研修等を行いました。
 - ◇介護者の集いの実施
- 健康づくりや介護予防に取り組み，生きがい対策を行いました。
 - ◇世代間交流事業の実施
 - ◇高齢者教養健康講座の開催
 - ◇さわやか大学の開催
 - ◇水中健康教室の開催
 - ◇健康相談の実施
 - ◇スマホ相談会の実施

② 障がい者（児）

- 障害者相談支援センターを通じ，本人・家族等の要望に応じた支援ができるよう相談体制を充実しました。
 - ◇障がい者（児）や家族への相談対応，福祉サービスの情報提供及び利用調整
 - ◇障がい者（児）に対するサービス利用計画作成・モニタリングの実施，サービス担当者会議の開催

- 障がい者（児）の在宅生活を支援するため、必要な各種サービス・事業を実施しました。
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇手話奉仕員養成事業の実施

③ 児童・青少年・ひとり親家庭等

- 福祉教育推進校等による体験学習を通じて、福祉の心を育てるとともに、高齢者や障がい者とのふれあいを大切にし、ボランティア活動を通じて社会の一員としての自覚と相互扶助の精神を育成しました。
 - ◇福祉教育推進校の指定（公立小・中学校 計6校）
 - ◇小・中学校への体験学習の出前
 - ◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催
 - ◇世代間交流事業の実施
 - ◇ボランティア人間塾「しあわせ探検コース（小学生対象）」の開催
 - ◇交通遺児就学奨励金給付事業の実施
 - ◇高等学校・専門学校との連携協働事業（ボランティア活動・福祉授業）

④ 生活困窮者

- 生活困窮者（世帯）等に対し、生活の自立を図ることを目的とし貸付等を行いました。
 - ◇生活福祉資金貸付事業の実施（緊急小口資金・総合支援資金等）
 - ◇高額療養費貸付事業の実施
 - ◇善意銀行の実施
 - ◇法外援護の実施
 - ◇緊急一時食品提供事業
- 様々な困りごとに対する相談対応を行いました。
 - ◇福祉なんでも相談窓口の開設
 - ◇心配ごと相談事業の実施
 - ◇地域食堂への支援

(2)地域住民の啓発と組織化

① ボランティア育成

- 障がいや防災等をテーマとしたボランティア講座を開催し、福祉ニーズに対応できるボランティアの育成に努めました。
 - ◇ボランティア人間塾の開催
 - ◇スマホサポートボランティア講座の開催
- ボランティア（グループ・個人）の育成に努めるとともに、ボランティア同士のネットワークを広げ、交流の輪を広げました。
 - ◇ボランティアセンター運営委員会の開催
 - ◇ボランティアグループ連絡会の開催
 - ◇ボランティア出前活動等の需給調整

② 地域福祉の推進

- 福祉委員活動の拡充に努め、福祉課題の分析に努めました。
 - ◇福祉委員会の開催
 - ◇福祉委員への情報提供、相談体制の強化
- 自治会への聴取り等により、地域の生活課題に住民自らが協働して助け合える体制づくりを支援しました。
 - ◇地域福祉推進連絡会の開催
 - ◇自治会への助成金の交付
- 住民に分かりやすい情報を発信し、ボランティア活動の啓発と福祉意識の醸成を図りました。
 - ◇ホームページの運営
 - ◇社協だより・ボランティア通信の発行
- 「スマイルフェスタinかいた」を開催し、人・関係団体等のつながりを広げ連帯を強化するとともに、福祉・ボランティアのイベントとして充実を図りました。
- 「社協オークション」を開催し、各家庭で眠っている品物を有効活用し、廃棄物を削減するとともに、社協の自主財源確保に努めました。

(3)社協基盤の整備

- 法令を順守した、適正な社会福祉法人の運営
- 事業運営体制の充実
- 被災者生活サポートボラネット委員やボランティアセンター運営委員を中心とした災害支援活動体制の充実
 - ◇被災者生活サポートボラネット推進会議の開催
 - ◇災害ボランティア事前登録制度導入
 - ◇町防災訓練への参画
- 職員に対する研修の実施
- 共同募金事業及び日本赤十字社事業への協力

(4)海田町福祉センターの管理運営

指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

- 新型コロナウイルスに対し、入館者への検温や手指消毒・トイレ消毒の配備、定期的な換気、利用人数制限等により感染予防を徹底し、利用者の安心・安全に配慮しました。
- ホームページ等によるタイムリーな情報を発信するとともに、施設利用者等に対して、バリアフリーの理解と福祉意識の醸成に努めました。
- 福祉センター自主講座の発表展示会を開催し、高齢者の生きがいづくりや交流の輪を広げることにより、施設の効果的な利用促進につなげました。
- 自主講座への支援やさわやか大学の開催により、主体性を持った活動の推進や健康寿命の延伸、フレイル予防の対策を充実しました。
- 健康増進プールや筋力向上トレーニングルームの利用を促進し、利用者の転倒予防や健康増進の充実を図りました。
- 高齢者活動ポイント事業の対象施設として、介護予防や健康づくりを支援しました。
- ゴーヤで緑のカーテンをつくり、1シーズンの総重量を当てるクイズを行うことにより、利用者の連帯感を深めました。

開催年月日 出席者数	会議名	付 議 事 項 等
R4. 4. 1 11名/12名	第1回 理事会	・社会福祉法人海田町社会福祉協議会会長の選定について
R4. 6. 1 11名/12名	第2回 理事会	・令和3年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業報告及び決算について ・令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第1回評議員会の開催について
R4. 6. 22 20名/25名	第1回 (定時) 評議員会	・令和3年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業報告及び決算について
R4. 12. 12 11名/12名	第3回 理事会	・社会福祉法人海田町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ・海田町くらしの安心・サポートセンター運營業務受託候補者選定に係る公募型プロポーザルの応募について ・令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会の開催について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会評議員候補者について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会監事候補者について
R5. 3. 16 11名/12名	第4回 理事会	・社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会有期常勤職員就業規則の制定について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人海田町社会福祉協議会善意銀行債権放棄について ・令和5年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業計画及び収支予算について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算(第1号)について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会事務局長の選任について ・ 令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について
R5. 3. 24 19名/25名	第2回 評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会善意銀行債権放棄について ・ 令和5年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会事業計画及び収支予算について ・ 令和4年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会補正予算(第1号)について ・ 社会福祉法人海田町社会福祉協議会監事の選任について

令和4年度会員加入状況

世帯数；R4.9現在

自治会名	世帯数	賛助 会員数	戸別 会員数	金額(円)	令和3年度	
					会員数	金額(円)
上 市	136		100	30,000	101	30,300
一 貫 田	48		9	2,700	32	9,600
中 店	174		99	29,700	101	30,300
新 町	246		170	51,000	166	49,800
稲 荷 町	214		147	44,100	149	44,700
窪 町	305		177	53,100	171	51,300
大 正 町	445		163	48,900	161	48,300
南 大 正 町	488		0	0	0	0
日 の 出 町	285		69	20,700	70	21,000
南 昭 和 町	565		245	73,500	253	75,900
昭 和 中 町	330		181	54,300	191	57,300
曙 町	320		140	42,000	148	44,400
東 昭 和 町	370		204	61,200	202	61,300
昭 和 町	200		106	31,800	114	34,200
市 頭	78		54	16,200	52	15,600
サンシティ海田昭和町	88		38	11,440	38	11,440
成 本	170		165	49,500	159	47,700
石 原	97		96	28,800	91	27,300
山 畝	59		50	15,000	50	15,000
畝	225		112	33,600	122	36,700
上 畝	63		58	17,400	63	18,900
砂 走	350		267	80,000	267	80,000
国 信	527		167	50,000	167	50,000
蟹 原	671		310	93,000	305	91,500
稲 葉	275		175	52,500	175	52,500
寺 迫	569		0	0	0	0
浜 角	142		120	36,000	120	36,000
県営東海田住宅	31		30	9,000	34	10,200
つくも県営	121		67	20,000	67	20,000
南つくも町	31		31	9,300	31	9,300
南堀川町	652		101	30,300	112	33,600
栄 町	123		48	14,400	49	14,700
ディーレスティア海田	61		61	18,300	62	18,600
月見県営	100		85	25,500	95	28,500
つくも町県警	30		24	7,200	29	8,700
月 見 町	359	1	0	1,000	201	61,000
南 本 町	350		148	44,400	145	43,500
南 幸 町	828		437	131,100	439	131,600
大 立 町	347		267	80,000	267	80,000
西 浜	340		200	60,000	209	62,700
幸 町	305		100	30,000	100	30,000
汁 免	513		259	77,820	273	81,750
あ さ ひ	102		91	27,300	90	27,000
東	345		300	90,000	300	90,000
西	545		377	113,100	361	108,200
町外在住者	-	1	-	5,000	1	5,000
小 計	12,623	2	6,047	1,820,160	6,331	1,905,390

令和4年度 団体会員加入状況

(順不同, 敬称略)

企 業 名 等	金額 (円)	企 業 名 等	金額 (円)
(株)アイオイ保険センター	3,000	すずらん薬局 海田店	3,000
(株)安芸管理サービス	3,000	(福)創絆福祉会	3,000
NPO法人安芸ソーシャルサポートの会	3,000	太陽の花 広島訪問鍼灸治療院	3,000
一般社団法人 安芸地区医師会	3,000	(有)タケハラ工業	3,000
安芸農業協同組合	3,000	ちえ内科クリニック	3,000
医療法人 秋本クリニック	3,000	(株)千葉物流倉庫	3,000
稲垣歯科医院	5,000	道祖園ゴルフセンター	3,000
医療法人社団沢進会 イチマ歯科医院	3,000	富永商事(株)	3,000
江草興機(株)	3,000	長田占勝税理士事務所	3,000
かいたいちウイメンズクリニック	3,000	長畑歯科医院	3,000
かいた駅前歯科	3,000	(株)にこら	3,000
小規模多機能型居宅介護海田じらく房	3,000	日本基準寝具(株)エコー広島南営業所	3,000
(株)KAITAK	3,000	(有)乗重設備	3,000
海田タカズミ薬局	3,000	ひまわり印刷(株)	3,000
海田なかよし実習所	3,000	医療法人博和会 平田歯科医院	3,000
学校法人住田学園 海田みどり幼稚園	3,000	広島安芸商工会	3,000
医療法人Camphor 海田ゆめぞら歯科	3,000	広島あさひライオンズクラブ	3,000
海田よつ葉クリニック	3,000	広島ガスプロパン(株)	3,000
かわもと皮ふ科	3,000	広島国際学院中学校・高等学校	3,000
岸保歯科医院	3,000	広島海苔(株)	3,000
医療法人 菊川皮ふ科医院	3,000	ふくやま保険事務所	3,000
医療法人社団 岸本医院	3,000	(株)フジフジ海田店	3,000
(株)きむら	3,000	(株)府中興産 サン府中スイミングスクール	3,000
倉本鉄工(株)	3,000	NPO法人 FOOT & WORK	3,000
(福)見真会	3,000	松川建設(株)	3,000
(有)広貫堂	3,000	まりあ眼科クリニック	3,000
国際セーフティー(株) 広島支社	3,000	医療法人 みぞて眼科	3,000
小さくら保育所	3,000	溝手建設(株)	3,000
(福)住田学園福祉会 さいわい保育園	3,000	医療法人桜衣会 南海田病院	3,000
(有)三基工業	3,000	医療法人かしの木会 山本整形外科病院	3,000
サンドイッチのポピア	3,000	ヨシワ工業(株)	3,000
(株)シーエル広島	3,000	(株)リアルウエスト	3,000
新物流サービス(株)	3,000	(株)レール	3,000
(有)新聞販売 JIN	3,000	(株)ワイテック	3,000
68件		206,000円	

一般会費 賛助会費	1,820,160円
団体会費	206,000円
合計	2,026,160円

一般会費：日安額300円 賛助会費：日安額1,000円 団体会費：日安額3,000円

令和4年度事業実施概要

1 当事者・家族の組織化・支援

1 ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者・障がい者（児）及び児童などの社会参加と交流の場をつくっている自治会に対し、助成金の交付やレク用品の貸出、ボランティア派遣、情報提供などにより支援しました。

団体数	32団体
助成額	1団体20,000円（年額）

2 見守り訪問活動推進事業

高齢者及び障がい者（児）等で見守りが必要と思われる世帯を訪問し、地域社会における見守りネットワークづくりを行っている自治会に対し、助成金の交付などにより支援しました。

また、円滑に見守りできるよう「見守り訪問活動あんしんガイド」を配布し、福祉委員活動を支援しました。

団体数	28団体
助成額	1団体10,000円（年額）

3 ふれあい上映会事業

映画の視聴を通して仲間づくりやふれあい交流等を行い、心の通う地域福祉を推進することを目的として、ふれあい・いきいきサロンなど、申請された希望場所にボランティアグループが機材を運び映画を上映しました。

団 体 数	20団体	
出 前 回 数	22回	
	(6/15 南幸町サロン)	(1/30 成本老人会)
	(7/13 石原サロン)	(2/18 曙町サロン)
	(8/ 1 大立町サロン)	(2/16 畝くすの木会)
	(8/21 寺迫サロン)	(2/19 百組寿クラブ)
	(8/24 南昭和町サロン)	(2/20 昭和中町サロン)
	(9/14 東サロン)	(2/22 一貫田サロン)
	(9/21 西サロン)	(2/23 蟹原サロン)
	(10/11 JA水の会)	(3/14 砂走サロン)
	(10/23 窪町サロン)	(3/15 南幸町サロン)
	(12/ 5 幸町サロン)	(3/17 西浜サロン)
	(1/11 西サロン)	(3/18 つくも県営サロ)
利 用 者 数	448人	

4

介護器具の貸出

在宅介護を必要とする高齢者・障がい者（児）に対し、介護の負担や日常生活の支障を少しでも軽減することを目的として、介護器具の貸出を行いました。

器 具 名	所 有 数	R 4 年 度 貸 出 数	R 4 年 度 返 却 数	総貸出数	在 庫 数 (3/31現在)
車 椅 子	72	46	43	59	13
杖	20	3	2	8	12
歩 行 器	2	1	0	1	1
四輪歩行車	10	4	6	6	4

利用料（消毒料）

550円

5 気ばらし会（介護者の集い）

在宅で高齢者・障がい者（児）の介護をしている方を対象に、同じ悩みを共有する方々が交流することにより心身の疲れを癒すとともに、情報交換の場及び仲間づくりを行いました。

月 日	内 容	参加者（人）
4/20	座談会	7
5/18	「自然災害から自分の命を守れ！」	6
6/15	座談会	5
7/20	座談会	4
8/17	盆休み	0
9/21	座談会	4
10/1	座談会	4
10/19	「お薬との上手な付き合い方」	7
11/16	「きらりん☆はつらつ体操」	7
12/21	「介護を受ける側の心構え」	9
1/18	「備えて安心！相続の基本」	13
2/15	座談会	4
3/15	座談会	3
合計（延べ）		73

6 福祉車両貸出サービス事業

日常的に車椅子を使用し、バスやタクシーを利用することが困難な方に、福祉車両の貸出を行い、外出の支援を行いました。

登 録 者	32人
年間利用件数	延べ38回
利用者負担	使用した燃料

7 海田高校生「手づくり弁当交流会」

地域で生活される75歳以上の一人暮らしの方を対象に、海田高等学校生徒が手作りしたお弁当を囲んで交流会を行いました。

地域内での高齢者の孤立感を緩和するとともに、生徒においても世代間交流を通じて福祉意識の向上を図り、豊かな心を育成しました。

会 場	海田高等学校	海翔館食堂
開 催 日	2/10	2/16
参 加 者	15人	14人
家政科生徒	38人	40人
役 員	1人	1人

8 サンタプレゼント事業

子どもに夢を与えるとともに、ボランティアとの交流を通じて豊かな心を育成することを目的に、保護者から預かったプレゼントをサンタボランティアが届ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

9 福祉教育推進校事業

小・中学校の児童や生徒の社会福祉への理解と関心を深め、地域連帯の精神を養うとともに、ボランティア活動を通じて地域社会の活性化を図り、心の通う地域づくりを推進するため、助成金の交付や出前授業などを行いました。

指 定 校	海田小学校, 海田東小学校, 海田西小学校, 海田南小学校 海田中学校, 海田西中学校
助 成 額	1校 50,000円 (年額)

・福祉教育推進校連絡会議 6/28

・福祉出前講座等

	月日	内 容	学校名	学 年	生徒数
1	6/27	車椅子体験	海田南小学校	3年生	99人
2	7/1	高齢者疑似体験	海田南小学校	3年生	99人
3	9/20	福祉の仕事	海田中学校	2年生	72人
4	10/19	車椅子・低床バス乗降体験	海田小学校	3年生	65人
5	11/9	点字体験	海田南小学校	3年生	98人
6	2/7	新聞づくり・朗読体験	海田中学校	3年生	153人
7	2/8	点字・車椅子体験	海田中学校	3年生	153人
合 計			7回	延べ	739人

10 手話奉仕員養成講座（受託事業）

聴覚障がい者の生活及び福祉制度についての理解と認識を深めるとともに、手話奉仕員派遣事業へ登録し活動する手話奉仕員の養成講座を開催しました。

開 催 日	8/1～12/26（18回）
参 加 者	11人（延べ157人）

11 訪問理美容サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び身体障がい者及び介護保険で要支援・要介護認定を受けた方で、外出困難な方を対象として、自宅を訪問し理美容サービスを提供しました。

登 録 者	77人	
年間利用件数	延べ131回	
利用者負担金	1回1,000円	65歳以上のみの世帯
	1回1,000円	65歳以上のみの世帯 「身体障害者手帳」保有者
	1回1,500円	要支援・要介護認定のみ
利 用 制 限	1人年4回まで	

12

寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び介護保険で要支援・要介護認定を受けた方に、寝具一式（上下布団・毛布）の洗濯・乾燥・消毒を行い、衛生的な在宅生活の支援を行いました。

	掛布団	敷布団	毛布	利用者
利用件数	53枚	20枚	44枚	延べ47人
負担金	300円	300円	50円	
利用制限	1人年2回まで			

13

水中健康教室（受託事業）

フレイル予防や寝たきり予防、健康増進を目的としてプールを活用した水中教室を実施しました。

	1クール		2クール		合計
	AM	PM	AM	PM	AM. PM
開催数	12回	12回	12回	12回	48回
開催日	4/6～7/27	4/6～8/3	8/31～12/21	8/31～12/21	
参加者	24人	20人	23人	22人	89人
参加費	1,000円/1クール				延べ出席者
対象	町内在住65歳以上				924人

14

障害者相談支援センター（受託事業）

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行うほか、障がい者（児）を支援するサービス利用計画を作成しました。

相談件数	238件
契約者数	74人

計画作成数	71件
モニタリング	143件

15

筋力向上トレーニングルーム事業（指定管理）

町内在住の20歳以上の方を対象に、転倒予防や筋力向上を目的としてトレーニングルームを無料開放し、利用者の健康増進を図りました。

月	利用者（人）	月	利用者（人）	月	利用者（人）
4	458	8	412	12	521
5	578	9	593	1	718
6	570	10	511	2	786
7	498	11	505	3	993
利用者 合計7,143 人					

2/6～筋力向上トレーニングルーム利用制限(6名以内)解除

16

世代間交流事業（指定管理）

高齢者や子どもが共通の講座に参加できる交流事業を実施することで、高齢者の健康で安らかな生活の維持及び社会参加を促進し、あわせて子ども達の思いやりの心を養う機会になりました。

月 日	内 容	参加者	参加費
9/3	簡単ドローン教室	7人	1,000円
11/23	多肉植物の寄せ植え教室	8人	1,000円

教養健康講座（指定管理）

町内在住の60歳以上の方を対象に、生きがいの推進、心身の健康及び日常生活での教養の向上のための講座を開催しました。

	月日	内 容	参加者(延べ)	参加費
1	5/26 6/23 7/28 8/25	おうち時間を楽しむ コーヒー講座	24人	500円
2	6/17 7/15 8/19 9/16	季節のプラバン アクセサリ講座	31人	500円
3	7/5 7/12 7/19 7/26	スマホ簡単教室	27人	無料
4	11/1 11/8 11/15 11/22	男の簡単料理教室	24人	2,000円
5	10/27①② 11/24③④	羊毛フェルトで来年の干支 (卯)を作ろう	34人	1,650円
6	2/7 2/14 2/21 2/28	自分でできるリフレクソロジー 講座	33人	1,000円
参加者数			延べ173人	

18

健康相談（指定管理）

町内在住の40歳以上の方を対象に、保健師による個別健康相談、血圧測定、検尿等を実施し、健康維持に寄与しました。

月 日	参加者数（人）	月 日	参加者数（人）
4/12	13	10/11	11
5/10	12	11/8	11
6/14	13	12/13	15
7/12	10	1/10	14
8/9	8	2/14	13
9/13	12	3/14	18
全12回		合計	150人

19

さわやか大学（指定管理）

町内在住の60歳以上の方を対象に、教養を深める場として、また地域において健康や福祉等の指導的役割を担っていただける方の育成のため大学を開催しました。

運営委員会（月日）			
4/6	7/13	10/12	1/11
5/11	8/10	11/9	2/8
6/8	9/14	12/14	3/8

	月 日	内 容	参加者数
1	4/6	『子ども達の居場所』 NPO法人 食べて語ろう会 理事長 中本 忠子さん	77名
2	5/11	「音楽で健康になれるの？」～音楽療法について～ 日本音楽療法学会認定音楽療法士 狩谷 美穂さん	83名
3	6/8	「自筆証書遺言保管制度について」 広島法務局 民事行政部 供託課 中菅 典子さん	78名
4	7/13	「介護予防・日常生活支援総合事業とは」 ～海田町の取り組みについて～ 海田町役場 長寿保険課 佐々木 仁さん	66名
5	8/10	「若者とのコミュニケーション ～世代間ギャップを理解しよう～」 シニアライフアドバイザー 幸田 洋子さん	54名
6	9/14	「今からできる！生活をデザインする方法」 ～難病プロジェクトから見えてきたこと～ 広島国際大学 健康科学科 医療福祉学科 田川 雄一さん	54名
7	10/12	「認知症ってどんなもの？」 ～認知症に関わる職員からのご紹介～ 東部認知症疾患医療センター 圓山 壮俊さん	79名
8	11/9	「特殊詐欺について」 海田警察 生活安全課 生活安全係 桐山 寿久さん	64名
9	12/14	「ヤングケアラーへの理解」 高陽ヤングケアラー広場 代表 山本 カヨ子さん	54名
10	1/11	「くも膜下出血からの生き直し」 シンガーソングライター 朝日山 元さん	69名
11	2/8	「あなたの睡眠大丈夫？」 マイライフ株式会社 健康サービス部 薬剤師・上級睡眠健康指導士 平野 清子 さん	69名
12	3/8	「節分」と「お花見」 以多屋 専門調理師 板谷 恭光 さん	72名
年会費200円（登録者128人）			参加合計 延べ819人

2 地域住民の啓発と組織化

1 第19回スマイルフェスタinかいた

地域の絆を開催理念にボランティア活動の推進と普及を目的とし、同じ地域に暮らす住民の誰もがボランティアに関われるよう“住民自身が考え自ら動く”という住民主体のイベントを、規模を縮小し感染予防対策を講じた中で3年ぶりに開催しました。

○ 第19回スマイルフェスタinかいた実行委員会

月 日	参加者数	月 日	参加者数
4 / 20	8 人	9 / 21	5 人
6 / 15	6 人	10 / 17	9 人
7 / 20	7 人	11 / 16	6 人
8 / 17	7 人		
合計 延べ 48人			

○ 参加団体説明会 10/19 17団体17名

○ 第19回スマイルフェスタinかいた

開催日	11/5 (土)
会場	海田町福祉センター、日の出公園
内容	あじさいの会、お楽しみ一座、おもちゃの病院、スタンプラリー かがやき、車椅子とことこクラブ、つぼみ、なかよし、ふれあい上映会、花みずき、六ツ星、森のくまさん、やまびこ、安芸の郷森の工房、海田町民生委員児童委員協議会、なかよし実習所、シルバー人材センター、老人クラブ連合会
講演会	演題「長寿社会を生き抜く」 ～コロナ禍で考えたこと～ 社会学者、高齢社会をよくする女性の会広島・代表 春日 キスヨ氏
参加団体	17団体
当日参加者	約400人

2 広報啓発

・社協だより

すべての住民が社会福祉を正しく理解するとともに、社協を身近なものと感じてもらうため広報誌を発行しました。

また、社協だより中面には、ボランティア通信として、福祉講座のご案内や講座参加者の感想、地域の情報をお伝えしました。

(年6回奇数月全戸配布)

・社協ホームページ

インターネットの普及に伴い、タイムリーな情報発信の手段として当協議会のホームページを運営しました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種による福祉センター休館、各指定管理事業等の休止・再開状況、社協事業について更新しました。

3 地域福祉推進連絡会等

地域福祉推進連絡会を開催し、自治会長に対して当会の事業説明などを行い、協力を求めました。また、社協だよりの配布、日赤・共募・社協会費の募集等についてお願いしました。

地域福祉推進連絡会	開催日
会場：福祉センター	6/17・9/16
自治会長会議での説明	開催日
会場：織田幹雄スクエア	3/22

4 海田町福祉センターまつり（指定管理）

高齢者の健康保持と社会参加及び生きがいの増進を図るため、福祉センターまつりを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、希望サークルのみで発表会・展示会を開催しました。

福祉センターまつり等に関する打ち合わせ会議

6/20 24サークル参加（1サークル欠席）

7/25 福祉センターまつり参加希望講座のみ出席（9サークル）

福祉センターまつりの中止に伴う発表会・展示会に関する打ち合わせ会議

1/10 発表会・展示会参加希望講座のみ出席（6サークル）

※ボランティアグループ1団体含

福祉センターまつりの中止に伴う発表会・展示会

2/22 発表会（3サークル+ボランティアグループ1団体）

展示会（2サークル）

3 その他福祉推進の諸活動

1 ボランティア人間塾

住民にボランティア活動を始めるきっかけや、地域福祉に関心を持ってもらうことを目的として、地域活動者の体験談や、障がいへの理解などを伝える講座を開催しました。

	月 日	講 座 名	内 容	参加者
1	5/21	開講記念イベント 「STOP!! 特殊詐欺」 ～つながりあって生きて いく～	第1部：特殊詐欺のコント 第2部：ジャンボ衣笠さんによる 広島弁爆笑落語で大いに笑っ て楽しみながら、地域における 自分の役割を考えました。	86名
2	6/11	～その時地域で どう動く～ 防災訓練協働編	被災者の生活サポートボラン ティアセンター開設イメージの 展示と、事前のボランティア登 録について呼びかけを行いました。	24名
3	7/8	～こんな地域活動やって ます～ 活動団体の立場から	町内の地域活動を皆に知って いただくことと、それをヒントに 自分でできそうな地域活動ある いは地域つながりを考えまし た。	25名
4	9/9	～こんなこと 考えています～ 当事者の想い	当事者から、地域の中で感じる ことや貢献したいことを聴き、 地域共生社会のカタチにつなげ ました。	36名
5	12/2	～私たちに できること～ 住民の立場から	住民それぞれの立場から、身近 な関わりのある人たちとの交流 や協働について考え、それぞれ の活動の中からヒントを探りま した。	33名
6	1/20	～身近な事業所を目指し て～ 職員は考える	近所にあっても日頃関わりのな い事業所や施設側から、地域内 連携について提唱いただき、地 域の中で人と事業所の協働を考 えました。	35名
7	2/17	～みんな地域の 仲間です～ 地域共生ふりかえり	年間を通して、地域共生社会を それぞれの立場で考えたことの ふりかえりを行い、地域で生活 するすべての人つながりについ て考えました。	34名
特別 編	8/20	小学4～6年生対象 しあわせ探検コース 障がいのある人に私がで きること	視覚障がいのある方から、日常 の暮らし方や災害時の避難所で の過ごし方を学び、地域内で安 心して暮らすための助け合いに ついて考えました。	8名
参加者合計 延べ 281人				
ボランティアスタッフ（運営委員） 内 40人				

2

公開医療講座〔海田町社協、マツダ病院共催〕

地域住民の健康についての知識を深めるとともに、疾病予防について学習するための講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3

ボランティアセンター関係

ボランティア活動の活性化を目指し、連絡会の開催のほかグループ及び個人ボランティアへの支援、情報提供、需給調整などを行いました。

ボランティア連絡会（原則奇数月第1木曜日）

月	日	参加者数	月	日	参加者数
5	/ 12	9人	11	/ 17	10人
7	/ 7	10人	1	/ 5	9人
9	/ 1	11人	3	/ 2	9人
合計延べ					58人

ボランティアセンター運営委員会（原則毎月第2火曜日）

月	日	参加者数	月	日	参加者数
4	/ 12	6人	11	/ 8	7人
5	/ 10	7人	1	/ 10	7人
7	/ 12	7人	3	/ 14	6人
9	/ 13	7人			
合計延べ					47人

- ・ボランティア登録者数 339人
- ・ボランティアグループ登録数 12団体
- ・社協だより中面にボランティア通信を掲載 年6回 全戸配布
- ・ボランティア調整件数（上映会、紹介・相談含む） 88件
- ・レク用品等貸出件数 33件

海田町社会福祉協議会 登録 ボランティアグループ 活動一覧

グループ名	活動内容	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
	年間助成金額				
あじさいの会	一人暮らし高齢者に 手づくり新聞の発行 ・配布	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備・説明会を含む) ・評議員会	5 1 2 2	・定例会(親睦会も含む) ・発行(印刷を含む) ・取材(企画会議も含む) ・中学校福祉授業	7 4 10 1
	10,000円				
お楽しみ一座	民謡・おどり・腹話 術等楽しさの出前	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・準備を含む)	6 4 7	・定例会 (親睦会, 練習も含む) ・出前 (いきいきサロン) (老人会)	25 2 1
	25,000円				
海田おもちゃの病院	おもちゃの修理によ る子ども達との交流, イベントへの出前開 院	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・準備を含む) ・オークション	4 7 7 3	・定期開院 ・環境センターへ物品収集	13 13
	15,000円				
かがやき	手話ふれあい交流会, 手話出前講座, 手話 勉強会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ	6 2 1	・定例会 (練習, 研修会を含む)	29
	申請なし				
ク車椅子とことこ	車椅子体験や高齢者 疑似体験を通じた社 会貢献活動	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ ・オークション ・評議員会	6 7 2 3 2	・定例会 (練習, その他を含む) ・小・中学校福祉授業	12 4
	25,000円				
つぼみ	手話ふれあい交流会, 手話出前講座, 手話 勉強会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・準備を含む) ・イベント通訳	3 1 4 2	・定例会, 練習 (懇親会も含む) ・平和学習	36 1
	10,000円				

グループ名	活動内容 年間助成金額	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
なかよし	「たんぼぼの店」の 援助、バザー用品づ くり、なかよし実習 所への援助	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備を含む)	5 7 1	・定例会、製作	35
	申請なし				
花みずき	特別養護老人ホーム で認知症カフェの 運営	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備を含む)	3 2 2	・定例会	2
	申請なし				
ふれあい 上映会	いきいきサロンなど への映画の出前	・ボランティア連絡会 ・スマイルフェスタ (準備を含む)	5 2	・定例会(親睦会も含む) ・出前 (いきいきサロン等)	15 22
	20,000円	・オークション	2		
六ツ星	点訳、ガイドヘルプ、 絵本作り、出前授業、 点字勉強会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・しあわせ探検コース ・スマイルフェスタ (準備を含む)	6 6 1 2	・定例会、点訳作業 ・小・中学校福祉授業 (打合せも含む) ・点訳絵本作成	10 2 1
	20,000円	・オークション ・点訳(議会だより)	5 4		
森のくまさん	森の工房あやめでの 作業の手伝い(精神 障がい者支援)	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備を含む)	6 6 2	・定例会 (町外) ・安芸の郷理事会業務 ・森の工房あやめ作業 (親睦会、季節作業も含む)	38 3 35
	申請なし	・オークション	5		
やまびこ 会	紙芝居・絵本の朗読 等の出前、朗読勉強 会	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備を含む)	6 3 2	・定例会、練習 ・中学校福祉授業 ・出前 (いきいきサロン)	24 1 1
	20,000円	・福祉センターまつり (リハーサルを含む)	2	(海田東公民館まつり)	2
計	145,000円	(助成金交付 8/12団体)			

4 おひる&よるのコンサート

福祉センター自主講座の活動の場の提供及びホールの有効活用を図るための各種コンサートを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

5 福祉委員会

福祉のまちづくりを推進し社協活動への協力や地域との調整を行うため福祉委員会を開催しました。

福祉委員会	開催日	
	6/10	1/18

6 被災者生活サポートボラネット推進事業

災害時の「共助（被災者生活サポートボランティア活動）」を進める町域のネットワークを強化するため推進会議を行いました。

推進会議	開催日
	6/14

7 スマホサポートボランティア養成講座

スマホ初心者の方にスマホの操作方法等についてアドバイスをする「スマホサポートボランティア」の養成講座を開催しました。

月 日	内 容	参加者（人）
1/24	スマホの基本操作を確認しよう	20
1/25	スマホの使い方について教える方法を学ぼう	16
2/ 1	相談会を開いて教え方を体験しよう	15
2/15	スマホサポートボランティア養成講座 参加者による交流会	10
3/14	スマホサポートボランティアによる相談会	10

4 その他の事業等

1 心配ごと相談事業

日常生活上のあらゆる心配ごとについての相談に応じ、解決のための助言や専門機関紹介などの支援を行いました。

相談利用件数	37件	開設場所	福祉センター
開設日数	44日（毎週木曜日13時30分～16時）		
相談員	民生委員児童委員，司法書士，人権擁護委員， 学識経験者		

※新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため計3回中止

2 福祉なんでも相談

「サービス担当窓口がわからない」などの福祉に関する相談に応じ、関係機関を紹介するなど断らない支援に努めました。

・相談内容件数

		件数	合計
1	福祉制度	24	83
2	介護	7	
3	保育・子育て	4	
4	健康・医療	5	
5	就学・就労	2	
6	家計・生活費	5	
7	住宅	5	
8	社会参加・地域活動	17	
9	ひきこもり	0	
10	その他	14	

3 生活福祉資金の貸付

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援しました。

また、新型コロナウイルスの影響により減収された方に対して自立相談支援機関と連携して特例貸付を行いました。

相談件数	延べ47件
今年度貸付件数	1件
貸付期間中	不動産担保型生活資金 1件（低所得者世帯向け不動産担保型生活資金）
償還中	福祉資金 1件（緊急小口資金） 2件（緊急小口資金平成30年7月豪雨特例貸付）

新型コロナウイルス特例貸付

相談件数	延べ168件
貸付件数	緊急小口資金 17件 総合支援資金 6件

4 臨時特例つなぎ資金の貸付

住居のない離職者で、離職者を支援する公的給付、又は公的制度の申請を受理されている人に対して生活費を貸し付けることで世帯の自立を支援する臨時特例つなぎ資金の申請はありませんでした。

貸付件数	0件
償還中	なし

5

善意銀行の運営

地域福祉の増進に寄与したいという人々の善意の預託を受けて、福祉に欠ける方を対象として、その善意を効果的に活かし、生活困窮者を支援しました。

今年度貸付件数	延べ4件
現在債権	305,000円(35件)

6

高額療養費の貸付

医療費が高額のため、その支払いに困窮する方に対し、資金を貸し付けることにより療養の確保と経済的自立を助長し、世帯の生活の安定を図りました。

貸付件数	延べ7件
貸付金額	1,699,409円
償還中	なし

7

福祉サービス利用援助事業（かけはし）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などで判断能力が不十分な方を対象として、福祉サービス利用の手続きや預金通帳の預かり等を行うことにより、自立した生活を支援しました。

利用者（3/31現在）	7人	新規契約件数	2件
生活支援員	5人	契約後の支援件数	912件

8

法外援護事業

行路病人等に対する近隣のJR駅までの切符代を支給し援護しました。

給付件数	1件
------	----

9 緊急一時食品提供事業

生活相談の中で、生活に困っている人（世帯）に対し食品を提供することで、生活の自立に向けた緊急一時的な支援をしました。

提供者数	60人	提供世帯数	32世帯
提供品			
カロリーメイト	180個	ケロッグコーンフロスティ	68個
フリーズドライみそ汁	241個	ソイミルク	168個

10 交通遺児就学奨励金給付事業

交通遺児に対する、奨励金給付の申請はありませんでした。

給付件数	0件
------	----

11 社会福祉協議会会員募集

様々な福祉活動のために有効に役立てるため、地域福祉活動に賛同いただける町民の方々より会費を募りました。

会費区分	目安額	実績額
一般会費	1世帯当たり 300円	1,814,160円
賛助会費	1世帯当たり1,000円	6,000円
団体会費	1企業当たり3,000円	206,000円
合計		2,026,160円

12 赤い羽根共同募金運動

すべての国民が助け合い精神を基調として善意を発揮し、福祉活動に有効に役立てるため募金運動を実施しました。

募金額	2,769,937円
-----	------------

日本赤十字会員増強運動

国際的な人道活動や国内での災害救護活動等、赤十字の人道的使命に基づき国内外を問わず支援を必要とする人々に愛の手を差し伸べるため、社費募集を実施しました。

社費額	2,829,080円
-----	------------

義 援 金 名	実 績 額
平成30年7月豪雨災害義援金	1,118円
令和2年7月豪雨災害義援金	1,013円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	20,000円
令和4年台風15号災害義援金	10,000円
ウクライナ人道危機救援金	100,951円
トルコ・シリア地震救援金	57,065円
合 計	190,147円

社協オークション

物品の有効活用、住民同士の交流、福祉センター活用などを目的として新型コロナウイルス感染防止のため様々な対策を取りながら開催しました。家庭にある休眠物などを住民から提供していただき、オークション形式で販売し、社協の自主財源の確保に努めました。

入札期間	7/24, 7/25, 7/26
引渡期間	7/29, 7/31, 8/1
物品提供者	28人
展示点数	78点
落札点数	66点
落札総額	84,229円
ボランティア数	延べ26人

海田町福祉センター 利用状況（指定管理）

【自主講座】 25講座

	自主講座名	回数	年合計(人)	月平均(人)	部屋
1	卓球	週3回	3,443	287	1階
2	サンフラワーズ(童謡)	週1回	1,713	143	多目的ホール
3	クロリティー	週1回	418	35	
4	元気アップ体操	週1回	1,864	155	
5	体操&ウォーキング	週1回	1,039	87	
6	ハイビスカス(フラダンス)	月3回	178	15	
7	手芸	月2回	235	20	講座室①
8	和会(小物作り)	月3回	112	9	
9	さわやか健康太極拳	月2回	275	23	2階
10	書道	月2回	241	20	講座室②
11	絵ごころクラブ	月1回	29	2	
12	絵てがみ	月2回	147	12	
13	折り紙(はじめてクラス)	月1回	106	9	
14	折り紙(中級クラス)	月1回	227	19	
15	月曜カラオケ	週1回	290	24	
16	火曜カラオケ	週1回	172	14	音楽室
17	金曜カラオケ	週1回	399	33	
18	ハーモニカ	月2回	131	11	
19	民謡日の出教室	月2回	190	16	
20	詩吟	月3回	90	8	
21	囲碁・将棋	週4回	1,534	128	
22	梅の会(踊り)	週1回	120	10	和室①
23	銭太鼓	月2回	79	7	
24	ヨガ	週1回	653	54	
25	ふれあい(おしゃべり会)	週5回	849	71	3階和室②
合計		14,534人			

2/6～福祉センター利用定員制限(各部屋利用定員1/2)解除

貸館（件数）	全額免除	半額免除	一般	合計
	411	10	118	539

筋力向上 トレーニング ルーム	利用者数	日平均
	7,143人	49.5人

プー ル	利用者数	日平均
	20,637人	78.7人

2/6～福祉センター利用定員制限（各部屋利用定員1/2）解除

◎ 海田町福祉センター 利用者数

合計 69,760人

16

福祉センター緑のカーテン

福祉センターにおける節電対策や地球温暖化防止を目的として、福祉センター南側にゴーヤを植え、緑のカーテンを作りました。

また、実ったゴーヤは昨年のクイズで当選された方へのプレゼントや、福祉センター利用者、地域のいきいきサロン等へ配りました。

「ゴーヤトータル何kgクイズ」では、期限までにとれたゴーヤの総重量を予想するクイズを実施しました。

投票期間	6/1～8/19	当選者	ピタリ賞	0人
参加者数	81人		ニアピン賞	6人
計測発表日	9/5			
総重量	14.8kg			